



安全データシート

ポリ硫酸第二鉄

作成日1995年 7月 1日

改定日2016年 6月 1日

1. 製品及び会社情報

製品名:	ポリ硫酸第二鉄
会社名:	タイキ薬品工業株式会社
住所:	福岡市東区東浜一丁目9番4号
担当部門:	製造部 技術製品企画室
電話番号:	092-641-5736
FAX番号:	092-641-4440
メールアドレス:	info@taiki-y.co.jp
緊急連絡先:	092-641-5736
推奨用途及び使用上の制限:	凝集剤、排水処理剤、消臭剤
整理番号:	SDS-5100

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理的及び化学的危険性:	火薬類 可燃性・引火性ガス 可燃性・引火性エアゾール 支燃性・酸化性ガス 高压ガス 引火性液体 可燃性固体 自己反応性化学品 自然発火性液体 自然発火性固体 自己発熱性化学品 水反応可燃性化学品 酸化性液体 酸化性固体 有機過氧化物 金属腐食性物質	分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 区分外 分類対象外 分類対象外 区分外 区分外 分類対象外 区分外 区分外 分類対象外 区分外 分類対象外 分類対象外 分類できない 注) 10. 安定性及び反応性を参照のこと。
人の健康に対する有害性	急性毒性(経口) 急性毒性(経皮) 急性毒性(吸入:気体) 急性毒性(吸入:蒸気) 急性毒性(吸入:粉じん) 急性毒性(吸入:ミスト) 皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性	区分外(JISにおける) 分類できない 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類できない 区分1C 区分1 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない

環境に対する有害性	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
	水生環境有害性(急性)	区分外
	水生環境有害性(慢性)	区分3

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

重篤な皮膚の薬傷・目の損傷

重篤な目の損傷

長期的影響により水生生物に毒性

注意書き:

【安全対策】

適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

ヒューム、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

環境への放出を避けること。

【応急処置】

飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚又は髪に付着した場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

目に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

皮膚に付着した場合、目に入った場合、飲み込んだ場合、吸入した場合は、直ちに医師に連絡すること。

【保管】

耐腐食性、耐腐食性内張りのあるもの、又は適切な材料の容器で施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

物質

単一製品・混合物の区別:

混合物(水溶液)

化学名又は一般名:

ポリ硫酸第二鉄

別名:

polyferric sulfate、塩基性硫酸第二鉄、重硫酸第二鉄

化学式又は構造式:

[Fe₂(OH)_n(SO₄)_{3-n/2}]_m (ただし0 < n ≤ 2, m = f(n))

CAS No.:

51434-22-1

濃度又は濃度範囲:

塩基性硫酸第二鉄; 36.0 ~ 39.0 重量%

官報公示整理番号(化審法・安衛法):

記載なし(硫酸第二鉄(1)-359)

GHS分類に寄与する不純物及び

情報なし

安定化添加物:

4. 応急措置

吸入した場合:

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合:	医師に連絡すること。 汚染された衣類、靴などを脱ぎ捨てる。製品に触れた部分を水又は微温湯を流しながら洗浄する。外観に変化がみられ、痛みが続く場合は直ちに医療措置を受ける手配をする。
目に入った場合:	直ちに清浄な水で15分以上洗眼する。その際は瞼を開き水が全面にゆきわたるように行う。医師の手当てを受ける。 コンタクトレンズを使用の場合、取り除いて洗浄する。
飲み込んだ場合:	飲料水を多量に飲ませた後、直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。
予想される急性症状及び遅発性症状:	データなし
最も重要な兆候及び症状:	データなし
応急措置をする者の保護:	汚染された衣類や保護具を取り除く。救助者が有害物に触れないよう手袋を使用するなど注意する。
医師に対する特別注意事項:	データなし

5. 火災時の措置

消火剤:	周辺の火災に適切な消火剤を使用する。 この製品自体は、燃焼しない。
使ってはならない消火剤:	特になし。
火災時の特有の危険有害性:	消火作業の場合は必ず保護具を着用する。
特有の消火方法:	付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。 速やかに容器を安全な場所に移す。 移動不可能の場合は、容器及び周辺に散水して冷却し、容器の破壊を防ぐ。
消火を行う者の保護:	消火活動では、耐熱手袋、ゴーグル型保護眼鏡を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:	作業の際は適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したりしないようにする。 風上から作業し、風下の人を避難させる。 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
環境に対する注意事項:	漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。 流出した製品が河等に排出され、環境へ影響を起ささないよう注意する。 大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
回収、中和、封じ込め及び浄化方法と機材:	漏出源を遮断し、漏れを止める。少量の場合は、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉出来る空容器に回収する。大量の場合は、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策:	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気:	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱注意事項:	取扱い後はよく手を洗いうがいをする。 火気注意。 飲み込みを避けること。 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 眼に入れないこと。
接触回避:	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管	
技術的対策:	耐腐食性の内張りがされているもので、適切な容器で貯蔵すること。
混触危険物質:	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管条件:	耐腐食性、耐腐食性内張りのあるもの、又は適切な材料の容器で保管すること。

容器包装材料: 最初の容器内でのみ保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度: 作業環境評価基準に設定されていない。
(平成7年3月27日労働省告示26号)

許容濃度
(暴露限界値、生物学的暴露指標):

日本産衛学会(2006年版): 該当しない

ACGIH(2006年版): TWA 設定されていない。

設備対策: 取扱い場所の近くに洗身シャワー、手洗い、洗眼設備を設ける。

保護具

呼吸器の保護具: 必要に応じて保護具を着用すること。

手の保護具: 保護手袋を着用すること。

眼の保護具: 眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具: 保護衣を着用すること。

衛生対策: 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など: 赤褐色の液体。

臭い: 無臭

pH: 約 0.8~1.0

融点: 約-10~-15°C

凝固点: データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲: 約 108°C

引火点: 不燃性

爆発範囲: 不燃性

蒸気圧: データなし

蒸気密度(空気 = 1): データなし

比重(密度): 約 1.45~1.48 (20°C)

溶解度: 水に易溶。

オクタノール/水分配係数: データなし

自然発火温度: 不燃性

分解温度: データなし

臭いのしきい(閾)値: データなし

蒸発速度(酢酸ブチル = 1): データなし

燃焼性(固体、ガス): 該当しない

粘度: 10~30CPS(25°C)

10. 安定性及び反応性

安定性: 通常の保管及び取扱においては安定である。

危険有害反応性可能性: 製品は強熱して蒸発乾固させると亜硫酸ガスを発生する。

避けるべき条件: 高温。鉄や銅合金。

混触危険物質:

危険有害性のある分解生成物: 亜硫酸ガス

11. 有害性情報

急性毒性(経口): 経口 マウス LD₅₀ 2,000mg/kg より大きいため区分外とした。
GHS 区分では区分5に該当するが、日本国内の分類方法(JISZ7252)では区分4までの適用しかないのである。

急性毒性(経皮): データなし

急性毒性(吸入: 気体): データなし

急性毒性(吸入:蒸気・ミスト):	データなし
皮膚腐食性・皮膚刺激性:	pH2 以下の為、区分1とした。
眼に対する重篤な損傷・刺激性:	pH2 以下。データはないが、実績から区分1Cと推定される。
呼吸器感作性・皮膚感作性:	データなし
生殖細胞変異原性:	データなし
発がん性:	データなし
生殖毒性:	データなし
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露):	データなし
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露):	データなし
吸引性呼吸器有害性:	データなし

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)	区分外
水生環境有害性(慢性)	金属化合物であり水中での挙動及び生物蓄積性が不明であるため、区分3とした。
生態毒性	
魚毒性:	ヒメダカLC ₅₀ :260ppm(24時間TLm)、170ppm(48時間TLm)
残留性/分解性:	知見なし
生体蓄積性:	知見なし
土壤中の移動性:	知見なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	消石灰、炭酸カルシウム、ソーダ灰等を加えて中和した後、廃棄する。 都道府県知事等の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装:	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	IMOの規定に従う
航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う。
国連番号:	UN3264
品名(国連輸送品名):	その他の腐食性物質(無機、液体、酸性のもの) CORROSIVE LIQUID, ACIDIC, INORGANIC, N.O.S.
国連分類:	Class8
容器等級:	Packing Group III
海洋汚染物質:	非該当
国内規制	
陸上規制情報	非該当
海上規制情報	非該当
航空規制情報	航空法の規定に従う
特別の安全対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 他の危険物や燃えやすい危険物に上積みしない。 他の危険物のそばに積載しない。
緊急時応急措置指針番号	154

15. 適用法令

労働安全衛生法:	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)【352 鉄水溶性塩】
----------	---

水質汚濁防止法:	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9)【352 鉄水溶性塩】
下水道法:	指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)【52 鉄及びその化合物】
水道法:	水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条の4) 31鉄及びその化合物(溶解性) 有害物質(法第4条第2項)
海洋汚染防止法:	水質基準(平15省令101)34鉄及びその化合物 有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)
外国為替及び外国貿易法:	406ポリ硫酸第二鉄溶液 輸出貿易管理令別表第1の16の項(2)HS2833硫酸塩

16. その他の情報

参考文献

- 1) 日本ケミカルデータベース(株) 化学物質法規制検索システム
- 2) (社)日本化学工業協会 [改訂第2版]緊急時応急処置指針 容器イエローカード(ラベル方式)への適用
- 3) Syracuse Research Corporation (<http://esc.syrres.com/interkow/interkow.exe?CAS=->)

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等にもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は通常の実施を前提としたものなので、特殊な取扱いの場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。